

令和七年十月句会 お題「前向き」 近藤郁子選

令和七年十月句会 お題「そろそろ」 小妻健一選

善処する言つてばかりでらちあかぬ

えいじ

定時ですスープ温め待っている

哲子

アグレッシブ、ポジティブ捨てて楽になる

英二

そろそろと老々介護時来る

あき朋

ネガティブな夫に私を足して割る

乃り子

宴半ばラストオーダー時間です

幸男

前向きに捉えストレス封じ込め

千楽

そろそろにお誘いあると待ち構え

純一

大丈夫やればできると踊らされ

幸男

そろそろかオギャー一声皆が待つ

純一

前向きに生きてる人にグチはない

アキラ

そろそろと終活準備遺言書

幸男

佳 前向きに善処しますは死語になり

英二

佳 そろそろとおもいあぐんで時期逃がす

乃り子

佳 前向きは夫婦円満秘訣なり

あき朋

佳 お迎えが来てもおかしくないよわい

ちさと

佳 四面楚歌実験続けノーベル賞

健一

佳 もうそろそろ身を固めろと母の声

きよな

佳 さあ行こう元気に目指す一万歩

ひよこ

佳 そろそろと歩けば歩くほどこける

英二

佳 二千万無くても平気君がいる

広子

佳 ぼちぼちと遺族年金調べてる

広子

秀 悩むより明日の楽しみ考える

基弘

秀 そろそろとなんて急かすなまだ逝かぬ

アキラ

軸 前向きな人を励みにして生きる

郁子

軸 もう十分トランププーチンネタニアフ

健一

令和七年十月 自由吟

あき朋

中秋を愛でて名月吉備団子  
前向きに生きて長寿を願つてる  
シニアには割りの合わないバイキング。

朝が来るまだ眠れない昼のツケ  
暇つぶしお茶飲むための軽井沢  
気づいたら思わぬとこで転んでた  
お見舞いにくると言う友止められず

えいじ

サルスベリ酷暑に負けず咲いていた 哲子  
高い空芸術の秋始動する  
万博のレガシー未来繋げゆく  
幸せだ何を食べても肥ゆる秋

未完のまま師走がそこにマジですか 乃り子  
そこここにセミの亡骸手を合わす  
暑さ寒さミックスにして冷凍庫  
夫婦老い微調整してもう少し

会うたびに両手の花が変わる友 義雄  
ガザ停戦わが家の平和なお遠く  
リレーせぬ蟻の見事な個人主義  
来客中よそゆき言葉で叱る母

副首都は儲かりまつかなんぼほど 英二  
アホボケカス画面に向かい憂さ晴らし  
涼しくなると寒い寒いと文句言う  
まだ子供サンマはらわた食べぬ僕

ノーベル賞俺に寄せと駄々を捏ね 健一  
政権の基盤揺るがす総裁選  
仲間脱け奈良の女は出番待ち  
武器もなく熊に注意と言われても

次々と免許手放す友に揺れ 郁子  
与野党の迷走どこへ行くのやら  
背骨なお所詮安倍氏の秘蔵っ子  
世の憂さを忘れバンザイタイガース

わたし月輝いている友の陽で ミチ  
万博の夢のあと見に淡路島  
わかるなあ銀メダル奈良来場者  
場外のスタンプ求め琵琶湖の地

投げて打っては3本みな脱帽 千楽  
裏ガネもどこかへ消えてゴールイン  
窓なし黒ずくめ妖怪の街だ  
米のチャンピオンなのにワールドとは

意地張り合った友の心が分かる今 きよな  
長女ゆえ耐える事には慣れてる  
賑やかさの中ふと寂しさに負ける時  
ふわふわの今流行ってるかき氷

若い若いと思えているのが大間違い アキラ  
老いの意地後に残るは悔いばかり  
阪神が勝って和らぐ神経痛  
玉木さん一夜明ければただの人

十一月句会 十一月十七日(月)

いきいきホール2階 十二時四十分開場

「試す」純一 「きつちり」乃り子 各二句

司会・句会結果作成当番 広子 翌月配布

自由吟、句会前日までに4句をアキラまで

だから、川柳

人生に喜怒哀楽があり、平穏な日々のうちにも、沈潜し、また湧き上がる喜び悲しみに、人はいつも、揺れ動く心とともに生きています。

そうした心を誰かに伝え、あるいは自分で確かめる、いや、それよりも、吐き出せずにはいられない何かがあつて、人は言葉を紡ぎ出します。

それらの言葉を、ちゃんと受け止め、言葉の背後の心を見抜き、ともに喜び、ともに悲しみ、その上でさらに大きく目を見開いて明日へと歩めと、言葉を返してくれる人、そんな人が

いてくれたら、人生はどんなに豊かになるでしょう。

「時実新子のだから川柳」より